

# 奥会津 だより

2002年初夏  
第12号

光ってる苗がぴかぴか植えた田  
京 佐藤 小南 伊

# 万歳! 大家族

五十嵐徳吉さん一家(昭和村)



ハルさん(83歳)



徳吉さん(60歳)



幸子さん(56歳) 伸さん(30歳)



萌花ちゃん(3歳) 玄樹くん(5歳)



美里さん(28歳)



彩花ちゃん(4ヶ月)

撮影：渡部泰子

## 奥会津つれづれ

奥会津の町村はみな山に囲まれ、川に沿って町並みが続いています。山のフナ、川辺のヤナギの芽吹きではじまった春。今はもう一面の緑。長旅を終え軒下に戻ってきたツバメも、人と同じ屋根の下に暮らすスズメも、みな子育てに大忙し。カエルも産卵に水場へ向かい、農家のお年寄りも早朝から田や畑の仕事に精出していきます。空ではトビが悠然と舞い、そこは情報交換の場でもあります。

近年は勤めに出る人も多くなり、職場は都会と変わらぬ忙しさです。仕事でいらつく心に恵みを求め、静かに水をたてる川辺にたたずむ。車窓をあけて清々しい風を感じるのもいい。すると不思議にストレスは消え、ここでは誰もが心にゆとりを持っているようです。

奥会津の暮らしは時代の流れとともに大きく変わってきました。けれど、そこに暮らす人々の心は、昔と変わらず今もゆったり豊かです。身近に自然な森があり川の流れる姿がある。人と共に生きる生き物たちの姿がある。人類の歴史のほとんどがそうであったように、自然の中での暮らしは、私たちの心を穏やかに柔らかにしてくれるでしょう。



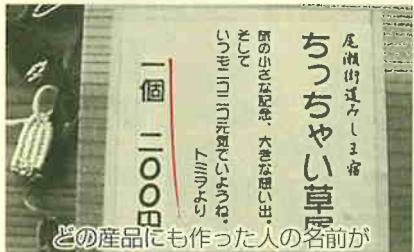
# 奥会津をPR

# 尾瀬街道 みしま宿

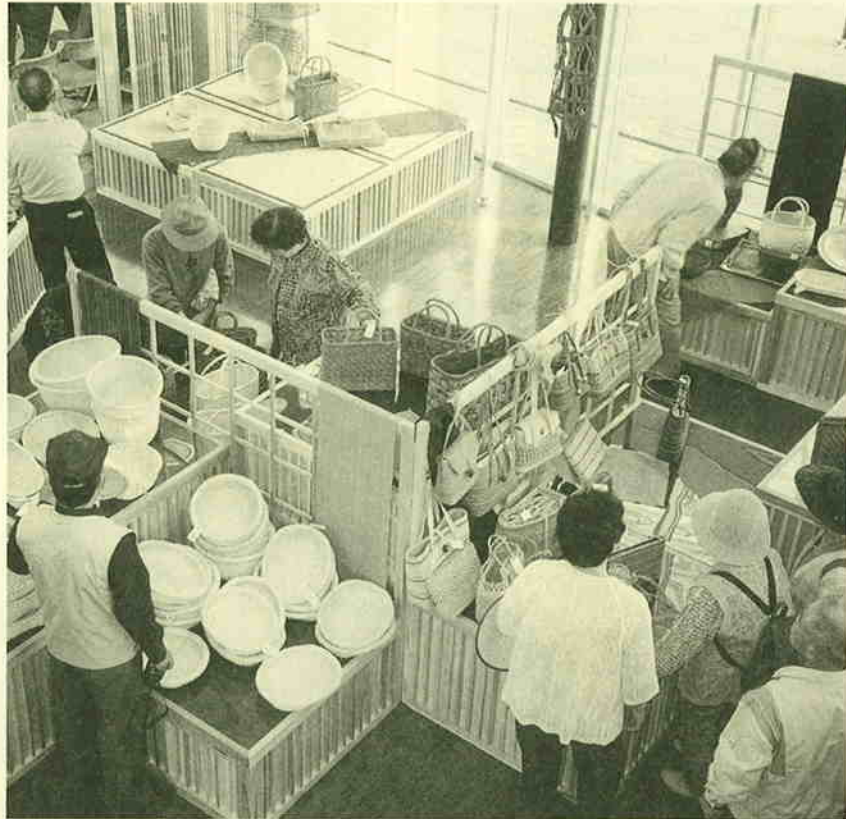
4月27日にオープンした「みしま宿」は、奥会津の玄関口の一つに位置しており、昭和・只見・檜枝岐などへの立寄り所として各地域の情報を提供しています。道の駅とは一味違う奥会津ガイド。



奥会津をガイドする案内box



どの製品にも作った人の名前が



## 奥会津の新しい情報発信基地



息を呑むような景観が望める



歳時記の郷・フォトコンテストの作品を展示

### 尾瀬街道って？

奥会津は尾瀬沼を水源とする只見川の本・支流に沿って点在する9つの町や村です。沼田街道が古くから重要な生活道路だったように、自然・文化の大回廊を新しい共通軸として位置付けるための名称が「尾瀬街道」です。この街道筋に沿って、地域の情報を発信し、特産品などの紹介と販売をしながら「尾瀬街道」を演出する「宿」が、これからも目見えする予定です。



菖蒲、露草、都忘れ・・・奥会津は今、紫の花々が印象的です。



景色のいいところだね。桐は三島って聞いてたの。(千葉から)



緑の中に3つのオブジェ



出張の帰り。ソバを食べに行こうと思って(昭和村)



週末は二十金の人も。いろんな情報をお伝えします。(スタッフ)



ソフトクリームおいしい！奥会津には年に一回は来ます。(東京から)



おらほうの町だいたいしたもんかできたていうから(三島町)

# 宝物つて何？

奥会津にも緑が目にもまぶしい季節がやってきましたね。春から初夏にかけてのウキウキするようなこの時期に、夕暮れ時から一番にぎやかになる、「ビッキ」こと「カエル」についての話です。

「トノサマガエル、アマガエル、カエルにいろいろあるけれど〜」

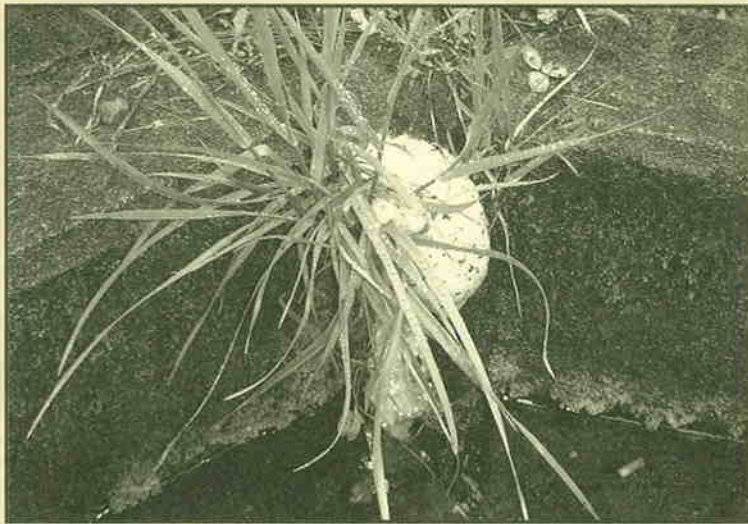
奥会津には10種類以上のカエルが生息しているようです。そのうち、一番かわいなのはアマガエルでしょう。一番大きいのはヒキガエル、一番きれいな声で鳴くのはカジガエル、一番臭いのはツチガエル、一番変わり者なのはモリアオガエルでしょうか？いろいろなカエルが水田や池、沢などのあちこちで思い思いに鳴いている。そんな声を聞けるのも、奥会津ならではの初夏の風物詩のひとつでしょう。

## 鳴き声はカエルのことば

カエルたちの鳴き声は、「鳴のう」という共鳴袋を膨らませて発せられます。人間は声を出すとき息を吐きますが、多くのカエルは空気を鳴のうと肺の間で往復させるだけです。鳴のうはオスにしかありません。カエルのオスが鳴くのは、自分が何者で何処にいるのかわらせるためです。同じ種類のメスを呼び寄せ、オス同士ではお互いの距離を決めるために鳴くのです。カエルは一般的に異種のカエルの声には反応しないので、何種類ものカエルが同時に鳴いていても、同じ種類のカエルの声だけを聞き分けられるのだそうです。

## 卵は？

多くのカエルは卵を水中に産みます。水田や池などならいいのですが、カジガエルは流れのある沢で産卵するため、メスは



シュレーゲルアオガエルの卵塊（ホントは土の中に産みつけたけど…）

卵が流されない適当なすき間が見つかるまで、オスを背負ったまま産卵場所を探して水中を泳ぎ回らなくてはなりません。モリアオガエルは樹上に産卵する珍しいカエルで、枝先に綿菓子のような白い卵塊を産み付けます。シュレーゲルアオガエルは畦の土の中などに穴を掘って、その中に白い泡状の卵塊を産み付けます。これは小さな卵の乾燥を避けるためだといわれています。

奥会津自然再発見プロジェクト担当

(株)ブレック研究所 松井孝子

# ファックス座談会

奥会津人 会話 世話

五十嵐和弘さん  
浅草建材(株)  
(只見町)



菊地登美枝さん  
伊南村商工会  
(伊南村)

※FAXで会議を行うという初めての試みに、奥会津世話人のお二人が挑戦しました。今後はインターネット会議など、時間を節約しながら頻繁にやり取りができるペーパーレスの会議が有効な手段の一つになるのではないのでしょうか。

1. やらうと計画していることは何ですか？
  2. 展開の方法は？
  3. 活動の現況は？
  4. 今年の目標は？
  5. 課題(問題)は？
  6. 今後の連携の意義と必要性は？
- 五十嵐さん：スノーモービルを通じて他の地域の方々と交流したい。
- 菊地さん：野菜スタンド(物産販売)など。
- 五十嵐さん：モービルランドの建設など。
- 菊地さん：スタッフを見つけて、まず一回実施してみる。
- 五十嵐さん：候補地の選定を町役場などに協力の要請中。地元クラブ・ワイルドフォックスとの打ち合わせ。
- 菊地さん：座談会で話し合いをした。
- 五十嵐さん：コースの設営。できれば大会なども。
- 菊地さん：視察。JA女性部と商工会女性部との話し合い。やりたい人の絞り込み。
- 五十嵐さん：広大な土地が必要なため、候補地が容易にみつからない。
- 菊地さん：観光客が減少している時期。新たに始めるのは遅いのでは？
- 五十嵐さん：遅くはないと思う。野菜スタンドなどがあれば、伊南村の宣伝になる。各地域の物産なども置けば、皆さんの支援も得られるのでは？
- 菊地さん：事業のリンクや支援は、全部は無理でも可能だと思ふ。
- 五十嵐さん：コミュニケーション。連携を深めてよいものは各地域で取り入れよう。
- 菊地さん：話し合いの中から見えるものもある。もつと会合を。

# 人間愛が育つ山里に住んで

教育診断研究所主宰(昭和村)  
教育施設でらこや塾頭(田島町)

橋本貞夫

「いま、地元にいる高校生の考えが尊重され、地域社会にどのように受け入れてもらえるか」「そのための環境づくりはどうしたらよいか」「地域社会と高校生が共に歩んでいくにはどうするか」。これらを先ず、地域でみんなが考えていきたいものです。

「地元の人と一緒に働けたらいい」と考えている高校生や「地元は何とかが役立ちたいと考えている高校生」も実際にいます。ですからみんなで一緒に考えられたいら素晴らしいことです。どの地域でも高齢者が増えてきていますので、若い世代の存在そのものが見失われがちです。これも



見直されなくてはならないことではないでしょうか。

若い人の立場が見直されていけば、若者も地元に残る人が出てくると思います。私は高校生が定着してくれる生き方を望んでいます。各年代層での話し合いも必要でしょう。

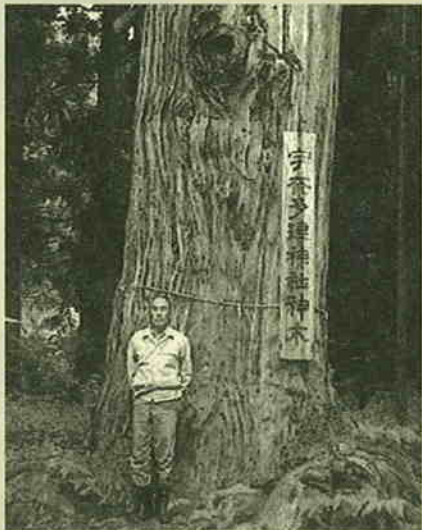
いまここで育てなくてならないのは「あたたかい人間愛」です。こういうことを住民のみならずすべてに分かってもらいたいです。人間愛が人間一人ひとりに育つたら、人間関係の間違いが起こらないと思います。この中山間部で、生きがいとやりがいのある生活もできるのです。「心ある人間を育てる教育」これができるのが自然環境の山里です。本来の人間づくりができてこそ、こういう地域から新しい芽がきつと出るに違いありません。

## 木物語 祠を呑み込んだ伝説の老杉 金山町・大塩

宇奈多理神社参道の老杉は、石の祠を呑み込んだという伝説を持つご神木です。五〇〇年生き続けた老杉の風格は、厳しくもおおらか。

太い枝が雪で裂けないように、鉄のベルトが巻かれています。

近くに住む菅家寅彦さん(75歳)が子供の頃、大枝が折れたことがあった。「まるで檜のような立派な木で、それで餅を搗く杵を作った人もいた。」と、いたわるように傷跡の洞を見上げます。



## 僕の夢!



牛かいになりたい!  
檜枝岐小一年

平野源太くん

## 夏の日の三本カラ松

奥会津賛歌・尾瀬



尾瀬はその素晴らしさゆえ多くの人が訪れる。そのため自然が荒れると言われる。

しかし、訪れる人々の小さな力の積み重ね、例えば、一人一個のゴミを尾瀬から持ち帰るといふ簡単な行いが40万個以上のゴミを持ち出す大きな力となる。これは理想論だろうか? (尾瀬在住) 猪狩貴史

http://www5.ocn.ne.jp/~keyak95/

## いべんと告知板

カナディアンカヌー

受講生募集中!

体験講習会

【日時】6月22日(土)・23日(日)

【場所】沼沢湖

●レベルアップ講習会

【日時】7月13日(土)・14日(日)

【場所】沼沢湖

●インストラクター体験

【日時】8月3日(土)・4日(日)

【場所】沼沢湖

(湖と妖精のフェスティバルで実施)

※対象者は高校生以上

※申し込み締め切り

6月14日(金)

※お問い合わせは

金山町役場企画情報課

☎0241-541-5222

【主催】只見川電源流域振興協議会

竹内敏信先生と行く

写真・文化の郷

春の撮影ツアー

昨年引き続き、今年も撮影会が開かれます。

【日時】6月16・17・18日

【撮影地】奥会津地域

【講師】竹内敏信氏他

※お問い合わせ

(株)フレームマン・フォトテクノ

☎03-34452-1327

【主催】只見川電源流域振興協議会

## 竹内敏信写真展

「奥会津秀麗」

【日時】6月15日(土)～7月14日(日)

【場所】三島町交流センター山びこ

月曜休館

【主催】只見川電源流域振興協議会

## いべんと報告

第2回会津高原さらかばツアーデーウオーク

5月18日・19日の両日、会津高原たかつえスキー場・スパシアを基点に、内外からの参加者約600人がウォーキングを楽しみました。



## 第2回歴史と文化の柳津ウオーク

晴れ上がった絶好のウォーキング日和となった5月26日。県内外から約950人が参加して、初夏を思わせる美しい奥会津の散策を楽しみました。